

新^{しん} 緑^{みどり} ニュース



病院の理念

確かな医療技術
やさしい対応
地域への貢献

さんきかい よこはましんみどりそうごうびょういん
医療法人社団三喜会 横浜新緑総合病院
〒226-0025 横浜市緑区十日市場町1726-7
TEL. 045-984-2400(代表) FAX. 045-983-4271
地域医療連携室 TEL. 045-984-6216(直通)



副院長就任挨拶

副院長・内科部長

堀地 直也

平成26年10月に当院へ着任し、内科部長として地域医療に関わってまいりました。そしてこの度4月1日より副院長に就任致しました。

高齢化、超高齢化と言われていますが、私自身が医師となった当時の患者さんは50-70歳が中心でした。現在当院の内科病棟は70-90歳が中心となっています。この年齢の方々、もちろんもっと若い方々も含めて、地域の皆さまが病気を気にせず生活できるような地域医療を目指して、院内の医療の向上はもちろん、近隣の医療機関、施設との連携をより一層深めていきたいと考えています。

今までは内科部長として専門の呼吸器内科を中心とした内科の診療が中心でしたが、今後は横浜新緑総合病院の運営にも参加してより地域の医療に貢献していきたいと考えていますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



病気の話 「鼠径（そけい）ヘルニア」

鼠径ヘルニアは、米国では年間80万人が治療され、専門の外科医がいるほど一般的な病気です。日本は14万人と推定されますが、多忙のため我慢したり、「恥ずかしい病気」のイメージがあり、受診を渋る方も多くみられます。

<症状>



<治療>

手術自体は古来から行われており、近年、人工補強材の開発技術の進歩により、身体にかかる負担も軽減されました。また、手術の方法もここ数年で大きく変化しました。

鼠径部を5cm程斜切開し、お腹の前方から手術する方法（従来法）と、お腹に小さな穴を開けて、お腹の内側から腹腔鏡を用いて手術する方法があります。いずれも目的は一緒で、原因となる穴（ヘルニア門）を人工補強材で蓋をして補強することです。

<腹腔鏡手術>

腹腔鏡手術の大きな利点は、傷あとが小さく痛みが少ない、ヘルニア発生部位が左右の2ヶ所にあっても同時に治療できる、お腹の中（腹腔内）を観察しながら手術を行うので、症状が出ていない小さなヘルニアの見落としが少ないことです。

<当院での治療>

当院でも平成24年より導入し、現在では約8割の方が腹腔鏡手術で鼠径ヘルニアの治療をされています。ただし、手術をより安全に行うために、他の合併症をお持ちの方、ご高齢の方、腹部の手術の既往がある方（特に前立腺全摘後の方）に対しては、手術時間の短い従来法での治療をお勧めしています。

横浜新緑総合病院 消化器センター 外科ではその人に合った治療、オーダーメイドの治療を目指して、より安全に治療を行っていきたくて考えております。今後も地域医療に貢献できるように更に努力していきたくて思っております。

気になる症状のある方は、消化器センターにお気軽にご相談ください。

《消化器センター》

消化器外科 副部長 平山 亮一





当院の褥瘡対策委員会は、皮膚科医師・看護師・管理栄養士・作業療法士・薬剤師で構成されています。多職種がチームとして協力することで褥瘡対策を多角的な視点で捉え、アプローチすることができ、より効果的な予防・治療につながっています。その中には、褥瘡ケアの専門の研修を受けた「皮膚・排泄ケア認定看護師」1名が含まれます。また、各病棟には委員会の活動を受けて部署で中心となって褥瘡対策に取り組む看護師（リンクナース）が配置されており、患者様一人ひとりに合わせたケアを提供しています。

褥瘡は何よりも予防が重要です。褥瘡を作らないためにはリスク（褥瘡の発生しやすさ）評価、体位変換（体の向きを変える）の実践、適切な体圧分散マットレスの選択などが求められます。

褥瘡対策委員会では月2回の回診を行い、病棟スタッフと話し合いながら情報共有し、統一したケアの実践に努めています。さらに、年2回、院内研修会を開催し、病院全体の褥瘡対策における知識・技術・意識の向上を目指しています。

委員会メンバー全員が高い意識をもって『褥瘡発生ゼロ』を目標に頑張っています。

褥瘡対策委員会 看護科長 仙田 利恵子



褥瘡ラウンド



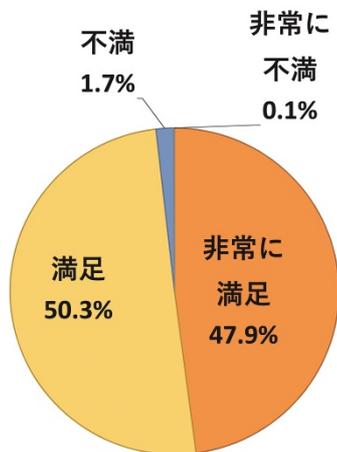
会議



褥瘡対策委員会 メンバー



「入院患者様満足度調査」結果報告 サービス向上委員会



職員の対応の評価

平成28年12月から平成29年2月末まで実施しました「入院患者様満足度調査」の結果をご報告致します。

「職員の対応」「食事」「療養環境」「設備関係」「病室」についての満足度は、総合的に高い評価を頂くことが出来ました。また、フリーアンサーでは医師・看護師・その他職員への感謝の意見を多数いただき、職員一同、心より嬉しく気の引き締まる思いです。しかし、中には不快な思いをされたらとのご意見も頂きました。厳しいご指摘やご意見については一言一句大切に uptake、今後は病院全体で検討・改善して参ります。

尚、「職員の対応」の評価はグラフの通りです。

詳細につきましては、当院ホームページ「お知らせ」をご覧ください。

平成29年 みんなの健康講座

主催：横浜新緑総合病院

※参加費無料

平成29年6月17日（土）シリーズ糖尿病 第21回

「あなどれない！ 調味料・油」～調味料や油の隠れたカロリー・糖分について～

講師 横浜新緑総合病院 栄養科 管理栄養士 大平 真衣



会場 十日市場地区センター 2階中会議室（十日市場駅より徒歩5分） 時間 午後1時30分～2時30分

お問合せ 地域医療連携室 045-984-6216（直通） 045-984-2400（代表）

平成29年7月15日（土）「生活習慣で夜間頻尿が治 ります ることがあります」

講師 横浜新緑総合病院 泌尿器科部長 石川 公庸 医師

